

平成29年産 JAIにしみのブロッコリー栽培こよみ

品種特性:にしみの管内で栽培されている主な品種の特性

番号	品種	株間	植付本数	アントシアン	熟 期	特性等
①	おはよう	30	3,600	無	中 早 生 品 種	株が立性で、株間が狭く出来るので、反当りの収量に優れる。ドーム型で形状が安定しており、定植適期幅が広い。
②	しき緑96号	27	4,000	無	中 早 生 品 種	株が立性で、株間が狭く出来るので、反当りの収量に優れる。肥料の削減も可能。良食味だが特に湿害に弱い。
③	キャッスル	35	3,100	無	中 生 品 種	秀品率が高く、安定的な収量が得られる。年明け出荷では花蕾が退色しやすい。
③'	美緑408	30	3,600	出にくい有	中 生 品 種	株が立性で、反当りの収量に優れる。ドーム型で堅くしまり重量感がある。耐寒性もあり、12月～1月収穫向き。
④	ともえ	35	3,100	出にくい有	中 晩 生 品 種	低温期(12月～2月)でも花蕾肥大性が優れる。花蕾の退色がしにくい。べと病に強い。
⑤	グリーンキャノン	30	3,600	出にくい有	中 生 品 種	根こぶ病耐性がある。株が立性で、反当りの収量に優れる。なめらかなドーム型。12月～1月収穫向き。

※アントシアン…紫色の色素で、寒さや肥料切れなど、株がストレスを受けたとき葉や花蕾の表面が紫色に変色する。着色度合いによってはB品となる。

10aあたりの売上高を上げるには、

- ① 基本に忠実に栽培し、正品率を高める。
- ② 単価の良いサイズの収穫を心がける。
- ③ 密植栽培できる品種を導入すること

などに努めましょう。

栽植本数の目安(10aあたり、1畝45mの場合)

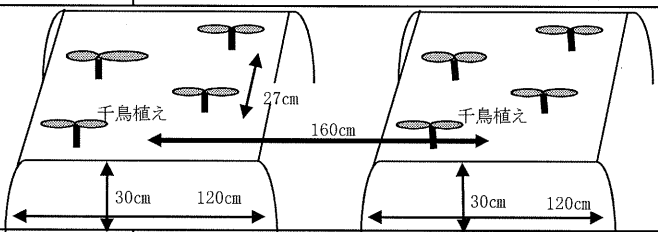
畝数	株間	27	28	29	30	31	32	33	34	35
11		3,667	3,536	3,414	3,300	3,194	3,094	3,000	2,912	2,829
12		4,000	3,857	3,724	3,600	3,484	3,375	3,273	3,176	3,086
13		4,333	4,179	4,034	3,900	3,774	3,656	3,545	3,441	3,343

ぎふクリーン農業(30%削減)

農業成分数	7成分以内
化成分由来素	素素成分22kg以内



◎:播種 ●:定植 ■:収穫 ▲:追肥 ☆:防除

月	旬	作型(品種特性を参照)					主要病害虫	作業名	栽培のポイント	農薬名・登録内容等																					
		①	②	③	④	⑤																									
7	下							土壌診断 土づくり肥料散布	・アブラナ科野菜の連作は出来るだけ避ける。 ・排水良好な圃場を選定し、弾丸暗渠、明渠を設置する。 ・小麦の後作では、苦土石灰の散布を省略できる場合がある為、必ず土壌診断を行なう。(JAIにて受付しています) ・土壌水分が乾いているときに、最低2回は耕起する。	(育苗期) <table><tr><th>ぎふクリーン カント</th><th>散布時期</th><th>薬剤名</th><th>使用量 (希釈倍率)</th><th>収穫前日数</th><th>使用回数</th><th>適用病害虫</th></tr><tr><td>-</td><td>は種時</td><td>プリンス粒剤</td><td>20~30g/箱※①</td><td>-</td><td>1回</td><td>ハイマダラメイガ</td></tr><tr><td>-</td><td>育苗期後半</td><td>プレバソフロアブル5</td><td>(100倍)※②</td><td>-</td><td>1回</td><td>アオムシ、コナガ、ハモシトリ</td></tr></table> ※① セルトレイ1箱当たり、セルトレイの上から均一に散布。 ※② セルトレイ1箱当たり、0.5畝を育苗期後半~定植当日に湛注処理。	ぎふクリーン カント	散布時期	薬剤名	使用量 (希釈倍率)	収穫前日数	使用回数	適用病害虫	-	は種時	プリンス粒剤	20~30g/箱※①	-	1回	ハイマダラメイガ	-	育苗期後半	プレバソフロアブル5	(100倍)※②	-	1回	アオムシ、コナガ、ハモシトリ
ぎふクリーン カント	散布時期	薬剤名	使用量 (希釈倍率)	収穫前日数	使用回数	適用病害虫																									
-	は種時	プリンス粒剤	20~30g/箱※①	-	1回	ハイマダラメイガ																									
-	育苗期後半	プレバソフロアブル5	(100倍)※②	-	1回	アオムシ、コナガ、ハモシトリ																									
8	上	◎	◎	◎	◎	◎		耕 起																							
	中	◎	◎	◎	◎	◎		畝立て 基肥散布	・マルチは畝立てと同時に張ることが出来る。 (畝立て時にダイアジノン粒剤5を施用) ・露地栽培の場合は、土壌処理除草剤を散布する。 ・うね内部施肥機の場合は、2割程度の減肥が可能。																						
	下	◎	◎	◎	◎	◎																									
9	上	●	●	●	●	●		定 植	・定植の前日に、プレバソフロアブル5をセルトレイに均一に湛注処理する。同じほ場で連作する場合はオラルク顆粒水和剤も湛注処理する。 ・マルチ栽培の場合、植え穴を土で覆い、苗焼けを防ぐ。	(定植前、連作する場合) <table><tr><th>ぎふクリーン カント</th><th>散布時期</th><th>薬剤名</th><th>希釈倍率</th><th>収穫前日数</th><th>総使用回数</th><th>適用病害虫</th></tr><tr><td>1</td><td>定植前</td><td>オラルク顆粒水和剤</td><td>200~500倍※③</td><td>-</td><td>1回</td><td>根こぶ病</td></tr></table> ※③ セルトレイ1箱当たり、0.5畝を定植1週間前~定植当日に湛注処理。プレバソフロアブル5と同時に施用可。	ぎふクリーン カント	散布時期	薬剤名	希釈倍率	収穫前日数	総使用回数	適用病害虫	1	定植前	オラルク顆粒水和剤	200~500倍※③	-	1回	根こぶ病							
ぎふクリーン カント	散布時期	薬剤名	希釈倍率	収穫前日数	総使用回数	適用病害虫																									
1	定植前	オラルク顆粒水和剤	200~500倍※③	-	1回	根こぶ病																									
	中	●	●	●	●	●																									
	下	●	●	●	●	●																									
10	上	☆	☆	☆	☆	☆			土寄せ (露地栽培のみ)	・雑草防除のため土寄せを行う。	※ 全面土壌湿潤又は作条土壌湿潤 ※ 露地栽培時 <table><tr><th>ぎふクリーン カント</th><th>散布時期</th><th>薬剤名</th><th>使用量</th><th>収穫前日数</th><th>総使用回数</th><th>適用雑草名</th></tr><tr><td>1</td><td>定植前(播入後前)</td><td>ルファ/サバ 粒剤2.5</td><td>4~6kg</td><td>-</td><td>1回</td><td>一年生雑草(ツユクサ科、カヤツリガサ科、ササ科、アザミ科を除く)</td></tr></table> ※ 全面土壌散布	ぎふクリーン カント	散布時期	薬剤名	使用量	収穫前日数	総使用回数	適用雑草名	1	定植前(播入後前)	ルファ/サバ 粒剤2.5	4~6kg	-	1回	一年生雑草(ツユクサ科、カヤツリガサ科、ササ科、アザミ科を除く)						
ぎふクリーン カント	散布時期	薬剤名	使用量	収穫前日数	総使用回数	適用雑草名																									
1	定植前(播入後前)	ルファ/サバ 粒剤2.5	4~6kg	-	1回	一年生雑草(ツユクサ科、カヤツリガサ科、ササ科、アザミ科を除く)																									
	中	☆	☆	☆	☆	☆		防 除	・定植1ヶ月後に、ハスモンヨトウの追加防除を行う。 また、アブラムシの飛来が始まる為、予防防除に努める。 ・雨が多い場合は殺菌剤の散布を行なう。																						
	下	▲	▲	▲	▲	▲		追肥土寄せ (露地栽培のみ)	・出蕾確認時に硫酸を15kg/10a施用する。 (露地栽培のみ) ・追肥と土寄せを同時に行ない、雑草防除も兼ねる。																						
11	上	▲	▲	▲	▲	▲		防 除	・アブラムシは一旦寄生すると、爆発的に増加する為、予防防除を徹底する。(出荷停止になる恐れも!)	(定植1ヶ月後) <table><tr><th>ぎふクリーン カント</th><th>散布時期</th><th>薬剤名</th><th>希釈倍率 (使用量)</th><th>収穫前日数</th><th>総使用回数</th><th>適用病害虫</th></tr><tr><td>1</td><td rowspan="2">定植1ヶ月後</td><td>プレオフロアブル</td><td>1,000倍 (100~300g)</td><td>7日前</td><td>2回</td><td>ハスモンヨトウ、コナガ</td></tr><tr><td>1</td><td>アクトラ顆粒水溶剤</td><td>3,000倍 (100~300g)</td><td>前日</td><td>3回</td><td>アブラムシ類</td></tr></table>	ぎふクリーン カント	散布時期	薬剤名	希釈倍率 (使用量)	収穫前日数	総使用回数	適用病害虫	1	定植1ヶ月後	プレオフロアブル	1,000倍 (100~300g)	7日前	2回	ハスモンヨトウ、コナガ	1	アクトラ顆粒水溶剤	3,000倍 (100~300g)	前日	3回	アブラムシ類	
ぎふクリーン カント	散布時期	薬剤名	希釈倍率 (使用量)	収穫前日数	総使用回数	適用病害虫																									
1	定植1ヶ月後	プレオフロアブル	1,000倍 (100~300g)	7日前	2回	ハスモンヨトウ、コナガ																									
1		アクトラ顆粒水溶剤	3,000倍 (100~300g)	前日	3回	アブラムシ類																									
	中	■	■	■	■	■																									
	下	■	■	■	■	■		収 穫	・2L…直径12~14cm(コンテナ12玉詰め) L…直径12cm (コンテナ15玉詰め)⇒L中心で収穫する! M…直径10~12cm(コンテナ18玉詰め)																						
12	上	■	■	■	■	■		追肥 (露地栽培・マルチ栽培)	・硫酸を15kg/10a施用する。年明けまで収穫する場合は、必ず施用する。(原則、露地栽培のみだが、マルチ栽培でも下葉が黄色い場合は施用する) ・雪が降る前に、排水溝の点検を行う。	(上記散布3週間後) <table><tr><th>ぎふクリーン カント</th><th>散布時期</th><th>薬剤名</th><th>希釈倍率 (使用量)</th><th>収穫前日数</th><th>総使用回数</th><th>適用病害虫</th></tr><tr><td>1</td><td>3週間後頃</td><td>ダントツ水溶剤</td><td>2,000倍 (100~300g)</td><td>3日前</td><td>3回</td><td>コナガ、アオムシ ※③アブラムシ類</td></tr><tr><td>-</td><td>秋雨頃散布</td><td>コサド3000</td><td>2,000倍 (100~300g)</td><td>-</td><td>-</td><td>軟腐病、黒腐病、斑点細菌病、褐斑細菌病</td></tr></table> ※③ アブラムシ類は2,000~4,000倍希釈	ぎふクリーン カント	散布時期	薬剤名	希釈倍率 (使用量)	収穫前日数	総使用回数	適用病害虫	1	3週間後頃	ダントツ水溶剤	2,000倍 (100~300g)	3日前	3回	コナガ、アオムシ ※③アブラムシ類	-	秋雨頃散布	コサド3000	2,000倍 (100~300g)	-	-	軟腐病、黒腐病、斑点細菌病、褐斑細菌病
ぎふクリーン カント	散布時期	薬剤名	希釈倍率 (使用量)	収穫前日数	総使用回数	適用病害虫																									
1	3週間後頃	ダントツ水溶剤	2,000倍 (100~300g)	3日前	3回	コナガ、アオムシ ※③アブラムシ類																									
-	秋雨頃散布	コサド3000	2,000倍 (100~300g)	-	-	軟腐病、黒腐病、斑点細菌病、褐斑細菌病																									
	中	■	■	■	■	■		防 除	・収穫が年明けになる場合は、花蕾腐敗病の予防の為、花蕾が1cm程度の頃に殺菌剤の散布を行なう。	(花蕾が発生したら必ず散布) <table><tr><th>ぎふクリーン カント</th><th>散布時期</th><th>薬剤名</th><th>希釈倍率 (使用量)</th><th>収穫前日数</th><th>総使用回数</th><th>適用病害虫</th></tr><tr><td>-</td><td>花蕾発生時</td><td>コサド3000</td><td>1,000倍 (100~300g)</td><td>-</td><td>-</td><td>花蕾腐敗病</td></tr></table>	ぎふクリーン カント	散布時期	薬剤名	希釈倍率 (使用量)	収穫前日数	総使用回数	適用病害虫	-	花蕾発生時	コサド3000	1,000倍 (100~300g)	-	-	花蕾腐敗病							
ぎふクリーン カント	散布時期	薬剤名	希釈倍率 (使用量)	収穫前日数	総使用回数	適用病害虫																									
-	花蕾発生時	コサド3000	1,000倍 (100~300g)	-	-	花蕾腐敗病																									
	下	■	■	■	■	■				※ 雑草発生時は… <table><tr><th>ぎふクリーン カント</th><th>散布時期</th><th>薬剤名</th><th>使用量 (希釈水量)</th><th>収穫前日数</th><th>総使用回数</th><th>適用雑草名</th></tr><tr><td>1</td><td>雑草生育期</td><td>バスタ液剤</td><td>300~500ml (100~150g)</td><td>前日</td><td>2回</td><td>一年生雑草</td></tr></table>	ぎふクリーン カント	散布時期	薬剤名	使用量 (希釈水量)	収穫前日数	総使用回数	適用雑草名	1	雑草生育期	バスタ液剤	300~500ml (100~150g)	前日	2回	一年生雑草							
ぎふクリーン カント	散布時期	薬剤名	使用量 (希釈水量)	収穫前日数	総使用回数	適用雑草名																									
1	雑草生育期	バスタ液剤	300~500ml (100~150g)	前日	2回	一年生雑草																									
1	上	■	■	■	■	■		追肥 (2月収穫のみ)	・葉が退色している場合は硫酸を5kg/10a施用する。	※ 定植前又は畝間処理 ※記載された上記農薬の使用量及び使用回数については、すべて10a当りの使用量となります。 (プリンス粒剤、プレバソフロアブル5、オラルク顆粒水和剤を除く)																					
	中	■	■	■	■	■																									
	下	■	■	■	■	■																									
2	上																														
	中																														
	下																														

施肥体系

肥 料 名	成 分			マルチ体系						露地体系						施肥時期等
				施 用 量		左記成分(化学由来窒素)				施 用 量		左記成分(化学由来窒素)				
	N	P	K	基肥	追肥	N	P	K	基肥	追肥	N	P	K			
完 熟 堆 肥				2,000						2,000						いずれかを施用する
ふりかけ堆肥エコ				100						100						
発酵鶏糞フローラ				200						300						地力により施用
苦 土 石 灰				100						100						土壌診断を基に施用
過 り ん 酸 石 灰	0	17.5	0	40		0.0	7.0	0.0		40		0.0	7.0	0.0		土壌診断を基に施用
ベジフレンド一発 (年 内 収 穫 用)	15	10	10	130		19.5	13.0	13.0		130		19.5	13.0	13.0		早生～中生品種に適用
						(18.1)						(18.1)				
ベジフレンド一発 (年 明 収 穫 用)	18	10	10	130		23.4	13.0	13.0		130		23.4	13.0	13.0		中晩生品種に適用
						(23.4)						(23.4)				
硫 安	21	0	0							15		3.2	0.0	0.0		出蕾確認時に施用する
硫 安	21	0	0							15		3.2	0.0	0.0		12月上旬に施用する
硝 安	34.4	0	0		5	1.7	0.0	0.0		5		1.7	0.0	0.0		厳寒期追肥に施用する
合計(年内収穫)						18.1	20.0	13.0				21.3	20.0	13.0		
合計(年明収穫)						25.1	20.0	13.0				31.4	20.0	13.0		

※年内収穫はぎふクリーン農業対応

※平成29年7月20日現在の農薬登録状況を基に作成されていますが、必ず最新の登録状況を確認した上で防除してください。

平成29年7月 西濃農林事務所 農業普及課 監修

ベジフレンド一発が2種類になりました

★年内収穫用ベジフレンド

おはよう・キャッスル・しき緑等の年内収穫する早生～中生品種に使用。
露地体系の場合は追肥が必要。

キャッスル・しき緑は低温になると花蕾肥大せず黄化するので、年明け以降収穫したい場合は「美緑408」「ともえ」等の品種を選定しましょう。

★年明収穫用ベジフレンド

美緑408、ともえ等の中生～中晩生品種の年明けまで収穫するときに使用。
年明収穫(2月まで)でも追肥は基本的に不要。
露地体系・下葉が黄化した場合は追肥が必要。